

2021年度(令和3年度・第8期)事業報告

一般社団法人 全国コミュニティ財団

新規/継続	種別	事業名	2020年度事業成果	2021年度事業成果	パートナー	実施日時	実施場所	事業計(収益)
(1) コミュニティ財団や地域社会についての調査研究 (0)								
新規	助成事業	宗教文化と寄付に関する研究<トヨタ財団 イニシアティブプログラム>	日本における神社仏閣などの宗教と寄付の関係について考えるセミナーをオンラインで公開するため動画を撮影した。	前年度に撮影した動画をCFJのYoutubeチャンネルで公開、またnoteで文字起こした記事を掲載した。	トヨタ財団	通年	オンライン	0
継続	自主事業	プロスポーツとの連携による地域社会の価値創造に関する研究	新型コロナや防災に関する取り組みなど、Jリーグとの意見交換を重ねた。	特に行わなかった。	Jリーグ・シャレン	通年	—	0
(2) コミュニティ財団業務の改善についての研究企画 (0)								
継続	助成事業	第三者認証及び通報窓口の運営<トヨタ財団 イニシアティブプログラム>	今後、運営を第三者に委託する形で実施を行う体制が整った。次年度から本格的に認証を進めていく。	社会環境の変化を受けて、事業実施体制の見直しを行った。	全国NPO事務支援カンファレンス、トヨタ財団	通年	全国各地	0
継続	助成事業	災害時における寄付募集プラットフォームの提供<トヨタ財団 イニシアティブプログラム>	災害時発生時の基金立ち上げを迅速に行うためのプラットフォームサイトの構築を進めた。	災害時発生時の基金立ち上げを迅速に行うためのプラットフォームサイトを構築、3つの災害に活用した。結果、総額約180万円の寄付を仲介した。	トヨタ財団	通年	全国各地	0
継続	自主事業	プログラムオフィサーに関する研究	—	「POの工具箱」研修の準備を進めた。また、研修に先立ち、オープンセッションを開催し、30名の参加を得た。	—	2022年3月	オンライン	0
(3) 関係団体、機関、官庁などに対する意見の開陳ならびに連絡 (0)								
継続	自主事業	各種政策への提言、ロビイング	特に行わなかった。	特に行わなかった。	—	通年	全国各地	0
(4) 会員の職員などに対する研修の実施ならびに会員の行う教育についての調査研究 (0)								
継続	自主事業	理事及び監事研修の実施	①助成選考に関するオンラインセミナーをオンライン配信で3回、またHOE開催の②「支援・評価・助成の基礎と戦略」連続オンライン講座に後援、共催し、助成に関する学びを深める機会を作った。	「POの工具箱」オープンセッション、また休眠預金事業の実行団体の合同研修会など、会員団体の理事及び監事も対象とした研修を実施した。	HOE[人と組織と地球のための国際研究所]	①2020年9配信、②2020年9月～11月、2021年1月～2月	オンラインなど	0
継続	自主事業	休眠預金に関する事業の理解を深めるセミナー	—	第2回会員意見交換会と併せて、全国コミュニティ財団協会としての休眠預金事業の実績を会員に対して報告した。	—	2022年1月	オンライン	0
(5) 会員相互が連携して実施する事業の企画ならびに実施 (3,330,000)								
新規	自主事業	会員CF対談	—	会長と各地のコミュニティ財団とのオンライン対談を行い、各財団の成り立ちや取り組みなどを紹介する4本の動画を公開した。	北海道NPOファンド、東近江三方よし基金、泉北のまちと暮らしを考える財団、みらいファンド沖縄	通年	オンライン	0
継続	自主事業	バックオフィス支援事業	新設コミュニティ財団等のバックオフィス支援を行う事業を京都地域創造基金と連携して実施した。	新設コミュニティ財団等のバックオフィス支援を行う事業を京都地域創造基金と連携して実施した。	京都地域創造基金	通年	オンラインなど	2,130,000
継続	協働事業	遺贈寄付の推進	全国レガシーギフト協会と連携した遺贈寄付に対する理解促進や相談対応に関する研修の実施などを行った。9月に新規で遺贈寄付ウィークの取り組みを試みた。	全国レガシーギフト協会と連携した遺贈寄付に対する理解促進や相談対応に関する研修の実施などを行った。9月に開催された遺贈寄付ウィークにて全国のコミュニティ財団や中間支援組織と連携した同時開催企画を行い、15地域・13会場・176名の参加を得た。また、メディアに9件掲載された。	全国レガシーギフト協会、日本ファンドレイジング協会	通年	全国各地	1,200,000
新規	助成事業	ブロック勉強会	—	特に行わなかった。	—	—	—	0
継続	協働事業	寄付月間	日本ファンドレイジング協会などが展開する寄付月間の取り組みに参画し、寄付に関する啓発や推進を行った。	日本ファンドレイジング協会などが展開する寄付月間の取り組みに参画し、寄付に関する啓発や推進を行った。	寄付月間実行委員会	通年	各会員地域	0
(6) 地域の課題解決に取り組む事業に対する支援に必要な資金等の資源を募り、確保する事業 (0)								
(7) 地域の課題解決に取り組む事業に対する助成、顕彰等を行う事業 (44,776,468)								
継続	助成事業	コロナ対策地元助成事業の実施事業<休眠預金活用事業「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」>	北陸地方、四国地方における新型コロナによる深刻化した課題の解消のために活動している団体に、現地の中間支援組織と連携して、19団体に助成・伴走支援を行なった。	北陸地方、四国地方において、新型コロナによって深刻化した課題の解消のために活動している団体に、現地の中間支援組織と連携して、助成した19団体に伴走支援を行なった。	JANPIA	2020年9月～2021年12月	北陸、四国地方	14,200,021

新規/継続	種別	事業名	2020年度事業成果	2021年度事業成果	パートナー	実施日時	実施場所	事業計(収益)
継続	助成事業	地域の中小企業の社会事業化を支援する若手支援者の育成事業<休眠預金活用事業(2020年度通常枠)>	地域において、地場中小企業のコミュニティビジネス化を支援する新しい資金循環機能及び担い手となる若手人材を育成する事業を公募し、3団体を採択した。	地域において、地場中小企業のコミュニティビジネス化を支援する新しい資金循環機能及び担い手となる若手人材を育成する事業を公募し、4団体を助成・伴走支援を行った。伴走支援の一環として、会員も交えた合同研修会を6回開催した。	JANPIA	2020年12月～2024年3月	全国各地	30,576,447
継続	自主事業	47コロナ基金(47都道府県「新型コロナウイルス対策」地元基金)	全国各地のコミュニティ財団等の支援組織と連携して、コロナ禍のニーズに対応するNPOや医療者等の支援を行うための基金を設置した。当協会では企画・広報を担当し、地域創造基金さなぶりが基金を設置し、寄付受け入れや助成の執行、パートナーとなる支援組織との調整を行った。 2021年3月末時点で、2億1千万円弱の寄付があつまり、各地のパートナーと協議のうえ、助成実施を順次2021年夏までに終わらせる見込み。	全国各地のコミュニティ財団等の支援組織と連携して、コロナ禍のニーズに対応するNPOや医療者等の支援を行うための基金を設置した。当協会では企画・広報を担当した。 2022年3月末時点で、約2億円の助成を執行した。	地域創造基金さなぶり	2020年6月～2022年3月	全国各地	0
新規	助成事業	休眠預金活用事業(2021年度通常枠)	—	地域内の資金循環を生み出す組織づくりとそれを担う若手人材育成を支援するスタートアップ助成事業の公募準備を進めた。	JANPIA	2022年2月～2025年3月	全国各地	57,172
(8) 会員相互の親交、連絡、情報共有 (7,768)								
継続	自主事業	年次大会及びブロック会議の開催	コミュニティ財団として初めて「地域再生大賞」を受賞した佐賀未来創造基金の取り組みをもとに、「コロナ禍、そして、これからのコミュニティ財団の役割を考える」をテーマとして開催し、25名の参加を得た。	東日本大震災10周年シンポジウム「大規模災害時のコミュニティ財団の価値と役割をふりかえり、ポストコロナ社会を展望する」を開催し、48名の参加を得た。		2021年6月	オンライン	7,768
(9) 前各号に掲げる事業に付帯する又は公益に関連する事業 (0)								
継続	自主事業	ウェブサイトの運営	CFのつくり方などのノウハウやSDGsに関連してCFや支援先の取り組みを紹介するウェブサイト運営した。	CFのつくり方などのノウハウやSDGsに関連してCFや支援先の取り組みを紹介するウェブサイトを運営した。	—	通年	オンライン	0